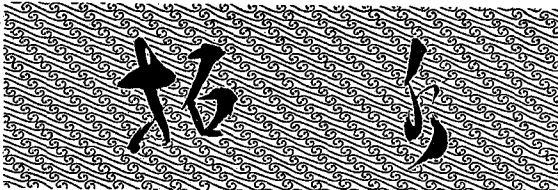


発行所 兵庫県漁業協同組合連合会 兵庫県水産改良普及協会 神戸市兵庫区中之島2の2の1 TEL 681-6954~7 発行人 兵庫県漁業協同組合連合会

これに決めた! プラス かんきん



全漁連は十月十四日、千代田区内神田の鎌倉河原ビルで第三回油濁防止対策懇話会を開き、①原因者不明による漁場油濁被害防止対策の強化について、推進すべき基本対策を集約するとともに、②関係当局に対し要望書を提出することを決めた。

この日、決まった推進すべき基本対策の柱は、①不法投棄の取り締まり強化 ②監視体制の強化 ③広域監視と連絡体制の整備 ④未然防止の啓蒙・教育 ⑤油濁事故発生時の連絡と実態を勘案するうえで逐次、これを全国的に実行、推進していく方針である。

同基本対策をまとめるに当たっての「現状認識」と「基本対策の内容」は次のとおり。

原因者不明による漁場油濁被害の実効的未然防止を期するため、今後重点的に推進すべき対策の基本的な事項として次のとおり集約するとともに、漁場別の油濁事故発生時の連絡とこの実態を勘案するうえで、逐次これを全国的に実行、推進していくものとする。

原因不明による漁場油濁被害防止対策の強化について

1、現状認識

関係者の努力にもかかわらず、東宮湾、伊勢湾、瀬戸内海を中心とする内海・内湾においては油濁被害の恒常的な発生がみられるほか、タンカー・ルートにおける不法投棄が原因と考えられる際油およびオイル・ポールの沖縄諸島、薩南諸島、五島列島、対馬および伊豆諸島等へ常習的に漂着している。

本問題の根本的な解決を図る方策の基本は、徹底的に取り締まり体制を強化し、不法投棄の根絶を期す以外にない。

伊勢湾、瀬戸内海を重点的に取り締まり海域にする。最近、問題海域となっている沖繩諸島、薩南諸島、五島列島、対馬沿岸に漂着の廃油等事故の未然防止対策として、国、特に海上保安当局は台湾、韓国当局との国際的な提携を強化し、または共同パトロールの実施強化等を展開し、原因者の究明もしくは不法投棄の取り締まり体制を強化すること。

このため、海上保安当局をはじめ各海上保安部署、水産関係行政機関等の指導、援助のもと、われわれ漁協系統組織との連携を密にした漁業者組織体をつくりだすための運動を全国的に展開し、漁場および漁場被害の未然防止を期した次の諸対策を推進するものとする。

油濁等による被害が発生した場合、周辺漁場に対する被害を最小限に抑え、油濁等への初期緊急対応、処理の迅速化を図るものとする。

油濁による漁業被害の防止または軽減を図るため、国・県等の助成措置と指導を得て、防除資機材の計画的な整備と備蓄を進めるものとする。

油濁による漁業被害の防止または軽減を図るため、国・県等の助成措置と指導を得て、防除資機材の計画的な整備と備蓄を進めるものとする。

油濁による漁業被害の防止または軽減を図るため、国・県等の助成措置と指導を得て、防除資機材の計画的な整備と備蓄を進めるものとする。

原因者不明油濁被害防止基本対策を集約し、全漁連全国的に取り組みを広く実行へ

油濁による漁業被害の防止または軽減を図るため、国・県等の助成措置と指導を得て、防除資機材の計画的な整備と備蓄を進めるものとする。

油濁による漁業被害の防止または軽減を図るため、国・県等の助成措置と指導を得て、防除資機材の計画的な整備と備蓄を進めるものとする。

油濁による漁業被害の防止または軽減を図るため、国・県等の助成措置と指導を得て、防除資機材の計画的な整備と備蓄を進めるものとする。

油濁による漁業被害の防止または軽減を図るため、国・県等の助成措置と指導を得て、防除資機材の計画的な整備と備蓄を進めるものとする。

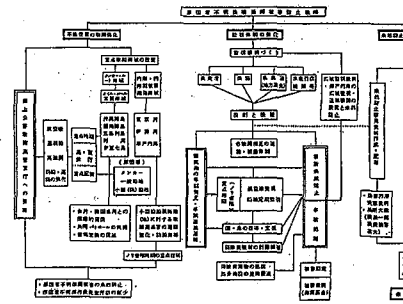
油濁による漁業被害の防止または軽減を図るため、国・県等の助成措置と指導を得て、防除資機材の計画的な整備と備蓄を進めるものとする。

油濁による漁業被害の防止または軽減を図るため、国・県等の助成措置と指導を得て、防除資機材の計画的な整備と備蓄を進めるものとする。

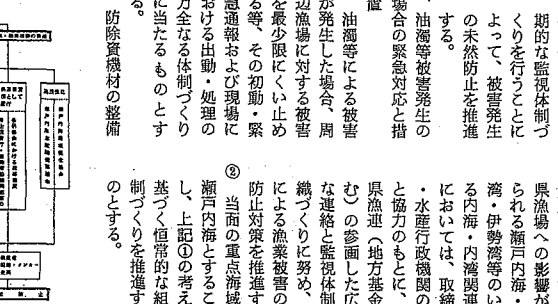
油濁による漁業被害の防止または軽減を図るため、国・県等の助成措置と指導を得て、防除資機材の計画的な整備と備蓄を進めるものとする。

油濁による漁業被害の防止または軽減を図るため、国・県等の助成措置と指導を得て、防除資機材の計画的な整備と備蓄を進めるものとする。

附一 原因者不明油濁被害防止対策の運動展開図



附二 油濁被害防止対策の機構と役割



油濁による漁業被害の防止または軽減を図るため、国・県等の助成措置と指導を得て、防除資機材の計画的な整備と備蓄を進めるものとする。

油濁による漁業被害の防止または軽減を図るため、国・県等の助成措置と指導を得て、防除資機材の計画的な整備と備蓄を進めるものとする。

油濁による漁業被害の防止または軽減を図るため、国・県等の助成措置と指導を得て、防除資機材の計画的な整備と備蓄を進めるものとする。

油濁による漁業被害の防止または軽減を図るため、国・県等の助成措置と指導を得て、防除資機材の計画的な整備と備蓄を進めるものとする。

油濁による漁業被害の防止または軽減を図るため、国・県等の助成措置と指導を得て、防除資機材の計画的な整備と備蓄を進めるものとする。

油濁による漁業被害の防止または軽減を図るため、国・県等の助成措置と指導を得て、防除資機材の計画的な整備と備蓄を進めるものとする。

油濁による漁業被害の防止または軽減を図るため、国・県等の助成措置と指導を得て、防除資機材の計画的な整備と備蓄を進めるものとする。

油濁による漁業被害の防止または軽減を図るため、国・県等の助成措置と指導を得て、防除資機材の計画的な整備と備蓄を進めるものとする。

油濁による漁業被害の防止または軽減を図るため、国・県等の助成措置と指導を得て、防除資機材の計画的な整備と備蓄を進めるものとする。

油濁による漁業被害の防止または軽減を図るため、国・県等の助成措置と指導を得て、防除資機材の計画的な整備と備蓄を進めるものとする。

油濁による漁業被害の防止または軽減を図るため、国・県等の助成措置と指導を得て、防除資機材の計画的な整備と備蓄を進めるものとする。

油濁による漁業被害の防止または軽減を図るため、国・県等の助成措置と指導を得て、防除資機材の計画的な整備と備蓄を進めるものとする。

漁海況情報 (57年10月)

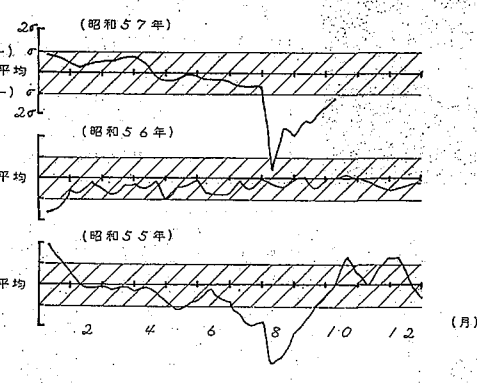
兵庫県立水産試験場

海況 今年の播磨灘、大阪湾における水温は、既報のように4月中旬ごろからやや低温を示し始め、特に7月から8月にかけては例年より2.0℃と大幅な低温を示した。その後も低温傾向を維持しているものが多い。徐々に例年水温に近づきつつあり、10月中旬では10℃程度の低温に回復している。このような夏季低温は、昨年の65年とほぼ相似した推移を示した(図参照)。

一方、塩分は水相とは逆に7月中旬までは逆海雨気味で例年より高目を示していたが、8・9月にかけて連続して来潮した台風による集中降雨で、よって大幅に低下した。しかし、9月中旬以後は急速に回復し10月にはほぼ例年並となっている。また、播磨灘の寒害塩類(チソ、リン)は一昨年、昨年ともに例年の程度で少な目に推移してきたが、今年も夏季にはやや例年並に近いものの、10月上旬の観測結果によると、特にチソ分が例年の半分以下となっている。これは9月中下旬に多かつた硅藻プランクトンによる消費とみられ、今後は若干回復するものと思われる。漁況 10月中旬、和歌山県田辺市で行われた太平洋南海域における昭和57年度下半期の回遊性魚類の予測は次の通り。

マヅシ、マイワシ資源は依然として全般的に高い水準を維持している。今年上半期の来遊状況からみて、1才魚を主体に2才魚以上の群も加わって、ほぼ前年並の来遊が期待される。今年の産卵期は前年同様、薩南海域を中心として出現している。量は前年同様多い模様である。

カタクチイワシは全国的にチワシ資源は全般的に近年著しく減少し、その漁獲量は昭和48年までの30万トンから53年以降は13万5千トン台と半減している。このように現在資源水準は低い状態にあるが、これが意図的に回復するとは考えられない。最近の産卵状況や今年上半期の来遊状況からみて、上向きな動きもみられることから、南海域全域としては前年並かやや上向きの動きもみられる。最近10年間の間に約半減に減少している。このため意図的に回復は望めないが、昭和55年以降や上向きの動きがあることと、上半期における0才魚の来遊状況からみて、下半期はこの群を主体として、南海域の西側では前年並、東側では前年以下と思われる。



旬別平均水温の年々値との差(明石) 斜線部分はほぼ前年並の範囲

マヅシ資源は前二者に比べて年変動が小さく、全国的に最近10ヶ年は4・5万トン前後の漁獲量で推移している。今年下半期においては、上半期の来遊状況からみて、0才および1才魚以上の来遊は海況全般として前年並かややそれを下回るだろう。これからの産卵群は土佐湾やその周辺域を中心に来遊するが、その量は前年同様少ない。大分、播磨灘では0才魚が例年と比べてやや多く出現したが、下半期中には南下の見込み。マヅシ資源もカタクチイワシと同様全国的に著しく低い水準で、最近10ヶ年の間に約半減に減少している。このため意図的に回復は望めないが、昭和55年以降や上向きの動きがあることと、上半期における0才魚の来遊状況からみて、下半期はこの群を主体として、南海域の西側では前年並、東側では前年以下と思われる。

冬期海難の即応体制等について

第八管区海上保安本部

第八管区海上保安本部では冬期離散島周辺海域に出漁船が多く海難の多発が予想されるため、例年同様に巡回船を配備して救助即応体制がとられており、本年も十一月一日から翌年二月末日まで常時一隻の巡回船を配備して出漁船の海難救助と防止に当たります。つきましては乗組員各位におかれては海難防止と万一の場合の救助が効果的に行われるよう左記について遵守御行方お願いいたします。

1. 海難救助関係
 - (1) 救助を要する事故が発生したとき又は、そのおそれがあるときは、ちゅうちよすることなく、海上保安部署又は巡回船艇に通報すること。
 - 2. 海難防止関係
 - (1) 救命・消防設備の点検整備と使用法の慣熟しておく。
 - (2) 離散島救助用無線機、無線機信号発信機、膨張式救命いかだ、消火器等を点検整備し、各器具の使用法に慣熟しておく。
 - (3) 適正な積荷の保持を要する場合は、積荷を乾げんマークの安全に留意して、常に十分な乾げんの保持に努めること。
 - (4) 海上安全作業等の着上甲板で作業する場合は、必ず安全作業衣又は救命衣を着用すること。なおこれらについては、

マヅシ資源もカタクチイワシと同様全国的に著しく低い水準で、最近10ヶ年の間に約半減に減少している。このため意図的に回復は望めないが、昭和55年以降や上向きの動きがあることと、上半期における0才魚の来遊状況からみて、下半期はこの群を主体として、南海域の西側では前年並、東側では前年以下と思われる。

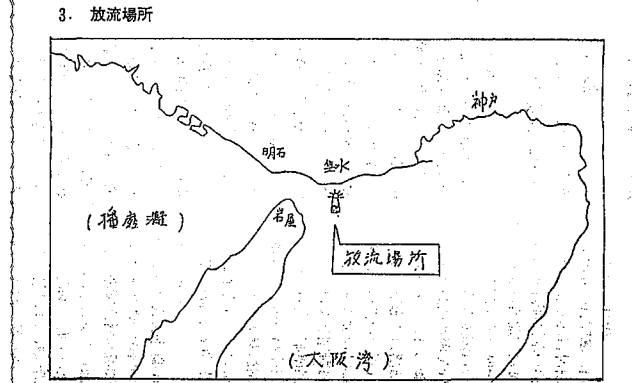
マダイの標識放流実施 再捕者は通報にご協力を!

神戸市漁協青壮年部の研究グループ(信川勝次会長)はマダイ回遊圏調査のため下記のとおり標識放流を実施しましたので、標識魚を採捕された方は通報方よろしくをお願いします。

放流年月日	放流場所	標識の種類	尾数	大きさ
57.10.16	神戸市垂水区 平磯灯台	アンカー型タグ 黒赤	500尾	平均 130mm

1. 放流状況
 - (1) 緊急入域申請後、短時間で入域位置及び入域予定日時を変更する場合は、入域位置が申請を要しない海域(公海上)等があるので入域する場合、気象・海象等を十分勘案して、入域位置及び入域予定日時を決定し、安易に変更しないこと。なお、入域位置は必ず緯度経度を付記すること。
 - (2) 出域通報
 - 出域する場合に、無断で出域するもの、また入域申請を行った相手局に通報せず、他の局へ通報するもの等があり、その動向把握が極めて困難となり、事務処理上非常に支障を来すことがあるので、出域通報は確実に実施するとともに、必ず入域申請を行った相手局へ
2. 再捕報告について(以下の項目についてお知らせください)
 - 1) 再捕年月日
 - 2) 再捕場所
 - 3) 再捕漁具
 - 4) 魚体の大きさ(全長と体重)
 - 5) 再捕者の住所氏名

宛先 〒655 神戸市垂水区平磯3丁目1番10号
神戸市漁業協同組合 Ⅷ078-706-0456
(お知らせいただきました方には記念品を贈呈いたします。)
3. 放流場所



全国海難防止強調運動 11月20日-29日

海上保安庁

スローガン 「冬の間無理と油断が事故のもと」

重点指導事項

- ① 海上交通関係法令の遵守
- ② 旅客船の安全運航の指導
- ③ 冬季荒天対策の強化
- ④ 自動操舵装置の適正使用の指導

世界で活躍する技術のヤマハ

驚異的低燃費!!

新発売 内海底曳用15馬力 **3L15** (15PS/1440rpm)

水産庁基準適合 低燃費機関

ヤマハディーゼル

ヤマハディーゼル株式会社

青春の航跡

やっ、洋大に参加することができる。しかし、試験に落ちなければ、中国へは行けない。通ればよいが、落ちた時はみじめである。農林水産関係で七人が受け、二人が落ちる。筆記試験、面接二時間の間は、やるだけやらせ、開きなおってしまった。それから数日、青少年局から一通の郵便が届いた。通ったのである。やっ、と中国へ現実にして行くのである。心の中は嬉しすぎて、いっばいである。これからが中国へ行く。別研修で兵庫県から参加

する、約一〇名が集まった。(一部省略) それから数日後、出発の日が来た。班の皆さんの元気な顔が見えるようにと心の中で祈った。八時過ぎ神戸駅よりバスで四時間、舞鶴に着く。ここにはこれから乗り込む新さくら丸の船体が岸壁に着岸してある。この大きな船で十五日間通すのかと思うと心の中になにか感動のようなものを覚えた。一時ごろから開校式が始まる。学長の挨拶から続き一時間後、やっ、と船に乗船することが出来る。(一部省略)

船にのって二日目、自衛隊の影で船が揺れ、一人二人と酔倒した。研修の二時間が、苦痛になりはじめる。しかし研修は中止にはならない。百人ほどが脱落する。三日目船酔いしている人の数も減るが今度は、下痢になる者が増える。前途多難である。天津といえは粟の

四日目、待ちに待った中国に着く。これから三日間は、研修もなく、観光と中国料理が味わえると思うと心も浮き浮きして来る。最初の訪問地は天津である。天津といえは粟の

洋上大学に参加して

洋上大学の研修旅行が終わってはや二カ月が過ぎたが、船上での、中国でのさまざまな思い出はまだ海れておらず、旅行中の写真を見るたびになつかしく思っている。今日この頃である。多くの入道と知り合えた。いろいろな出来事に出



船内活動の休みにちょっとスナップ

この会により自分とは全く縁のない職業に就いている友人とも親しくなり、視野が少し広がった。友人達も私と同じように感じてくれたのだろうか。もしそうであれば幸いである。今はおとも同じ地域内の友人と会合をもっているが、そのうちもっと他地域、他府県の仲間達と会うつもりである。そうすればまた視野が広がるだろう。

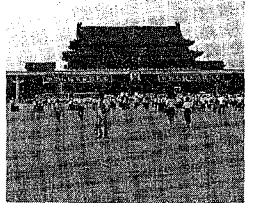
飯屋漁獲

南山 龍昇

プロフィール



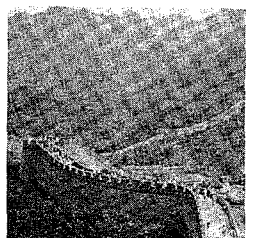
飯屋水産4日クラブに所属。新技術開発をはじめ種々の研究活動に活躍中。
〔写真左〕 飯屋水産4日クラブ 飯屋水産4日クラブに所属。新技術開発をはじめ種々の研究活動に活躍中。
〔写真右〕 橋本守弘君 県漁業管理課に勤務。日頃より体をきたえ、現在テニス、ゴルフに汗をながしている。



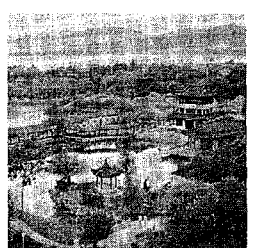
50万人が集える天安門広場



健康維持には大極拳



はるか続く万里の長城



無錫太湖の美景

イメージがあるが、この時期は果が取れない。そうすこしガククリする。天津市内を巡り天津動物園に着く。パンダの見学、皆さんの感激をいって写真のシャッターの音が到る。始まりだ。しかしあまりにも学生が多すぎる。おぼろげに学生を見ることが出来ない。まき時間が来ると出る。おぼろげにバスに向かう。続きは、希望の中国料理が食べられる。しかし日ごとの中国料理とは違い、過激な食事を食べる。これは人民公社を見てその日の宿泊する天津賓館へ二時間歩いてバスで走る。(一部省略)



北京の幼稚園でちょっと

翌日は、中国の首都北京に向かう。五十万人が集える天安門広場や故宮を見学し、一万八千人の人民大会堂で夕食を食べる。この記念に、はしを持って帰る。後で、スタッフに怒られるが、持って帰った。そのころ、人民公社を見てその日の宿泊する天津賓館へ二時間歩いてバスで走る。(一部省略)

飲物が飲みたくなくなるが、中国はあまり冷えた飲物が無い。みんな我慢して、団圓などであっただけである。中国でのこの三日間は、あまり食事が進まなかった。夕食が残り、次の訪問地、上海に船で向う。船の上の生活は、はつと大気が持たないが、次に洋大祭が始まる。その準備で忙しくなる。洋大祭は十四組中六番目に入る。賞品として梅干を貰った。の後の三日間、大助かりであった。

翌日は、中国の首都北京に向かう。五十万人が集える天安門広場や故宮を見学し、一万八千人の人民大会堂で夕食を食べる。この記念に、はしを持って帰る。後で、スタッフに怒られるが、持って帰った。そのころ、人民公社を見てその日の宿泊する天津賓館へ二時間歩いてバスで走る。(一部省略)



天津動物園のパンダ。のしり、のしりと……

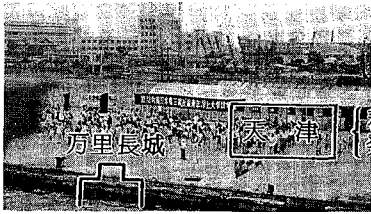
上海から次の無錫へは専用列車で行動する。列車は日本のより大きく、座席もゆとりがあり、三人が腰掛けられるほどである。サービスもよかつた。(一部省略) 最後の訪問地、蘇州へまた列車で移動する。最後は蘇州でも最後の最後に雨にたられ行動範囲が狭められる。蘇州のスポーツ交流会で、パレーポールの試合をする。女子は簡単に敗れてしまうが男子は健闘して勝つことが出来たが、中国側が手を抜いていたようである。皆んな荷物やみやげもので一杯である。また一つこれだけの荷物で船のタラップを登るのかと女子が心配そうな顔をすることになる。最後の中国滞在の日が来る。六日間の多くの感想は、人間関係の多さ、大船のおおろかさ、身分の差の大きさを痛感した。



船内の食事 話もはずみず

兵庫県漁業 橋本 守弘

自立と連帯を求めて7



万里長城 [着 8月13日] [発 8月15日]

熱烈歓迎を北ける(天津港)

天津

北京

[着 8月14日] [発 8月15日]

無錫

[着 8月19日] [発 8月20日]

蘇州

[着 8月20日] [発 8月21日]

上海

[着 8月18日] [発 8月21日]

舞鶴 神戸

舞鶴 発 8月10日15時

神戸

着 8月24日10時



見送りでにぎわう舞鶴港

第3回 近畿青年洋上大学参加報告

洋上大学の目的

「近畿はひとつ」の立場にたつて、第3回近畿青年洋上大学が8月10日から15日間にわたって開学された。

この洋上大学は、研修や団体生活のなから自立と連帯の精神を学び、「新しいふるさとづくり・新しい文化圏近畿づくり」の担い手を育てることが目的で、兵庫県をはじめ、近畿2府6県から四〇〇名の若者達が参加した。

今回は、近畿と歴史的に関係の深い中華人民共和国を訪問。実情の見学や中国青年との交流を通じて視野の拡大や国際協力精神の醸成が図られた。

本県漁業関係からは2名の若者が参加した。

テーマ「こころ」

わが国は、戦後の荒廃の中から立ち上がり、豊かな国を建設すべく、ただひたすら邁進してきた。その結果、他国に例を見ない高度経済成長を成し

こかに置き忘れてしま。たのではないだろうか。最近ますます深刻な度を加える青少年の非行問題も、物質的に満たされれば満たされるほど、逆に心の不安、いら立ち、葛藤そして孤独感がつのつてくる現代人の「こころ」

家庭、職場、地域社会日本そして世界中で心のふれ合いに満ちた暖かい人間関係を創り出し、すべての人々が他人の幸福

家庭、職場、地域社会から日本の、そして世界の現状にまで目を広げて、他の分野、他の地域、他の人の生活や考え方にじかに触れ、理解を深めることは非常に重要である。近畿八府県の青年四〇〇余名が一つの船に乗り、団体生活と研修を通じて自己を高め、友情と連帯を培うとともに、日本文化のふるさとであり、現在は新生の意気に燃えて近代化に取り組んでいる中国を訪れ、中国の青年達とも交流して、彼らの生き方や「こころ」を学ぼうとする意義はまさにここにある。

今、洋上大学の若者の集いの中から「こころ」への探究が始まろうとしている。洋大生一人ひと

遊げ、かつてない物質的豊かさを経験している。また、現代における科学技術の目覚ましい進歩によって、社会経済の急速な発展がもたらされると同時に、われわれの個人生活の利便性や快適さも飛躍的に高まってきている。

しかし、われわれは今心の底から本当に幸福になったといえるであろうか。むしろ、われわれの「こころ」の病は広く深くまん延しつつあるのではないだろうか。人間の幸福を、物質的豊かさに求めるのに急なあまり、われわれは心と心のふれ合う人間本来の生活をど

の病を象徴しているように思われる。今こそわれわれは、解決を求められている「こころ」を自らの幸福と感ぜられる社会にしていける必要がある。そのため、われわれが自分の生きざら

訪問地活動

- 8 京都市舞鶴港出港
- 10 天津新港入港
- 13 水上公園、動物園
- 14 人民公社
- 15 天津賓館
- 16 文芸参観
- 17 地蔵工場
- 18 故宮博物院
- 19 北京天安門
- 20 人民大会堂
- 21 京畿賓館
- 22 京都市舞鶴港出港
- 23 明の十三陵
- 24 天津新港入港
- 25 上海港入港
- 26 魯迅先生墓参観
- 27 少年宮
- 28 労働者新村
- 29 船上交歓会
- 30 無錫
- 31 記念植樹
- 32 万里長城
- 33 蘇州
- 34 太湖遊覧
- 35 水秀飯店
- 36 蘇州
- 37 スポーツ交歓会
- 38 人民公社
- 39 文芸参観
- 40 湖濱飯店
- 41 水秀飯店
- 42 蘇州
- 43 スポーツ交歓会
- 44 太湖遊覧
- 45 蘇州飯店
- 46 寒山寺
- 47 宝帯橋
- 48 黄浦飯店
- 49 上海港出港
- 50 神戸港入港

水試ノート ⑬

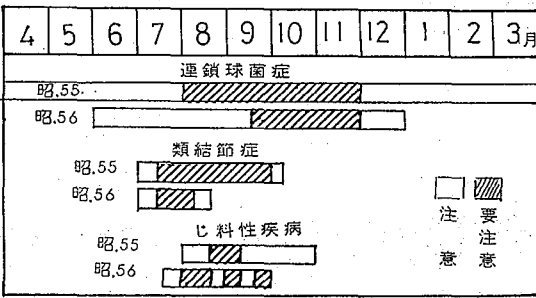
ブリ類養殖とその魚病発生予察

兵庫県における海面の魚類養殖は、戦前では昭和六年に赤穂市地先でクワダイ、翌七年には福良湾でハマチ養殖が行なわれた記録がある。

現在のようになつたのは、昭和四十七年から、昭和五十六年頃まで、昭和五十七年(昭和五十八年)の福良湾(仕切網方式)、由良湾(小割網方式)での県営による導入試験が契機となつた経緯もある。

その後、昭和四十七年の赤穂被害など、最近ではブリを乗り越え、幾多の苦難を乗り越え、マダイ以外に、量的には少ないがクワダイ、カワハギ、トラフグ、マアジ、ヒラメ等、養殖魚種が多様化が進行して

いる。魚病とその発生状況 養殖というものは、閉鎖的環境で高密度飼育されているため、色々な病



第1図 ブリ養殖における魚病の発生時期

てスレることがある。魚病発生は漁場環境に支那されることが多いため、昭和五五年からモアル漁場を選び、定期的な環境調査、養魚日記の記載、魚体検査等によって魚病の発生予察を試みている。



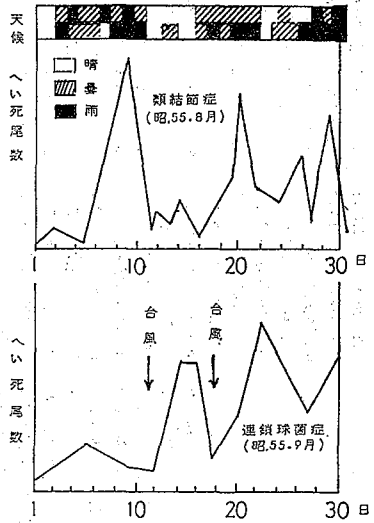
この結果の概要を主な疾病別にみると次のとおりである。類結節症(ブリ養殖の稚魚期(魚体30~40mm)に発生する17~25°Cの間で、水温が17~25°Cの間で多発する。特に降雨量が多いほど(第2図参照)。治療法は降雨前に薬剤を

な時期に栄養剤(タミン)を餌料と混ぜて餌口投与する方法が最も効果的である。魚類養殖その課題 最近における魚類養殖業の問題点をあげれば、養殖技術の進歩発達と共に、魚体の増大化・放養密度過多を招き、さまざま魚病の併発要因を持つてきていること。さらに、魚病対策も従来は魚への対症療法に重点がおかれてきたが、昭和五五年から薬療法改正とその使用量に規制が加えられていることである。

今後の養殖業のあり方を考えてみると、漁場環境を無視した養殖でなく、それぞれの環境に応じた予防対策に重点をおいた養殖方法への改善が、極めて重要な課題になって

いる。(病理研究室・片嶋) (1)一才魚の大小を問わず発病する細菌性の病気が多い。本症は台風等のシケの後が罹病しやすい。特に収容密度が高いほどへい死尾数が多い傾向がみられる(第2図参照)。

治療法は薬剤の餌口投与法があるが、効果が不同で薬剤費も高い。現状では4~7日間の断食法がよい。予防法には夏から秋にかけて、魚が健康



第2図 魚病によるへい死尾数の傾向

漁船員安全シリーズ ⑫

工具類 工具類は、常に使用できる状態に整備し、すぐ取り出せるよう定められ、場所ごとに格納すること。

1、点検 (1)頭部にまくれはないか。(2)曲り、割れ、欠けはないか。(3)柄は直角にしっかり入っているか。(4)適正な大きさが確実に入っているか。(5)油がこぼれていないか。(6)握り部分にすべり止め(切り込み)がついてあるか。

2、使用 (1)一、二回軽く打ってから本打をすること。(2)大型ハンマを使うときは、足場、周囲、動揺に留意し、自己の力をわきまて無理をしないこと。

3、点検 (1)あごの開きすぎはないか。(2)歯の歯の欠損、摩耗はないか。(3)柄のねじれ、曲りはないか。(4)ナットのサイズにあつたものを使うこと。(5)かませものをのしての使用はしない。

(6)パイプの径に合ったパイプレンチを使うこと。(7)調整ねじは、パイプの径に十分噛み合うように締めつけること。(8)はさみ部が油がついていない場合は、十分ふきとること。(9)はさみ部が手前に引いて使用し、噛み合わせには特に注意すること。(10)柄にパイプを巻き足したり、たいたいたり無理な扱いをしないこと。(11)パイプ・レンチが外れたときの足場、姿勢などに留意すること。

1、使用 (1)柄のついていないものを使うこと。(2)テコのかわりに使わないこと。(3)やすり粉を口で吹き払わないこと。

Table with 2 columns: Date and Event. Events include 専務参事会, 但馬漁船保険役員研修会, 東海青連ソフトボール大会, etc.

Advertisement for '水色の羽根募金運動' (Blue Feather Fundraising Campaign). It features a large illustration of a blue feather and text encouraging donations to support the welfare of fishermen.

Advertisement for 'いすゞ マリンエンジン UMO6BBIB'. It features a large image of the outboard motor and text describing its features: 高速への挑戦! (Challenge to High Speed!), 1. 小型、軽量、高出力 (Small, Light, High Power), 2. 卓越した耐久性、信頼性 (Superior Durability and Reliability).

いこと。 (4)シャックル・ピンのピン廻しには使わないこと。(5)作業中、パイプを離す場合は、不用意に甲板に置いたり、突き立てたりしないこと。

第27回兵庫県漁協婦人部大会開かる 10月26日 神戸市立水産会館に250名が集う

過去20余年にわたる活動で学んだ協同の精神によって「明るく豊かな漁村づくり」に向けて前進することを5,000余名の部員の総意をもって誓う。



▲ 祝辞を述べる山田県漁連会長

十月二十六日第二十七回兵庫県漁協婦人部大会が開かれ、丸一育波浦漁が神戸市立水産会館大ホールで県下各婦人部役員、漁協組合長、系統団体、県関係者二五〇名が参集して開催された。

漁協部長の司会により開会され、丸一育波浦漁協部長の大会宣言、西村浜坂町漁協婦人部長による綱領唱和、児島県漁協連会長の主催者あいさつ、来賓の池野芳樹省兵衛県婦人少年室長・貝原兵衛県副知事・山田県漁連会長より夫々祝辞を受け午前中の行事を終った。

午後より吉川県漁協連副会長より婦人部活動の概要報告があり、あらかじめ各地区よりの推進による活動実績発表が開始された。

第29回「わが家の家計簿」体験談募集

主催 貯蓄増強中央委員会
都道府県貯蓄推進委員会
後援 日本放送協会

あなたが家計簿を通じて体験し、感じられたことを文章につづってみませんか。

最近私たちの家計を取りまく環境は、所得の伸び悩み、税金・社会保険料や住居費、教育費などの負担増大、あるいは人口構成の急速な高齢化などいろいろな面で厳しくなっております。こうした中において、個性的で質的に充実した生活をしていくためには、長期的な見方に基づき、しっかり家計を管理することが必要であり、その手段として「家計簿の活用」がますます重要になってきています。つきましては、あなたの貴重な体験談を新しく家計簿をつけようとしている方々、記帳方法の改善、家計簿の活用に努力している方々の参考にさせてあげてください。

◎内容

- ・家計簿をつけはじめた動機と記帳上の苦心や工夫
 - ・家計簿を継続してつづける工夫や家族の方々の協力の模様
 - ・家計簿で発見したムリやムダとその改善
 - ・家計簿によって予算生活をした結果、生活の仕方に変化した
 - ・家計簿をもとにした生活設計
 - ・これらの過程で認められる子どもの教育への効果
 - ・グループによる家計簿記帳の勉強会など、家計簿記帳に関するものをなんでも自由に書いてください
- 記帳年数の短い方、初心者の方でも気軽に応募ください。使っておられる家計簿はどんな形式のものでも結構です。

◎原稿

1. 本文は400字詰原稿用紙5枚(2,000字)以内。本文のほか、月別・項目別支出一覧表を添付してください(内容がわかるものであれば簡単なもので結構です)。
2. 作品は未発表のものに限ります。
3. 原稿には、応募者の氏名(ふりがなをつける)、住所(郵便番号をつける)、職業、年齢、同一家計でくらす家族一覽(応募者との続柄、年齢、職業、就学状況など)、家計簿記帳年数および連絡電話番号を必ず記載してください。
4. 封筒の表面に「家計簿体験談」と明記してください。
5. 応募原稿はお返ししません。

◎募集期間

昭和57年12月1日～昭和58年2月28日

◎入選

- | | | | |
|-----|--------|----|------|
| 特賞 | 5 編 | 賞金 | 各5万円 |
| 優秀賞 | 10 編 | 賞金 | 各3万円 |
| 奨励賞 | 35 編程度 | 賞金 | 各1万円 |
- ・応募者全員に貯蓄増強中央委員会作製昭和59年用「明るい生活の家計簿」を発行次第(昭和58年10月号)とさせていただきます。
・入選編の著作権は主催者に帰属します。

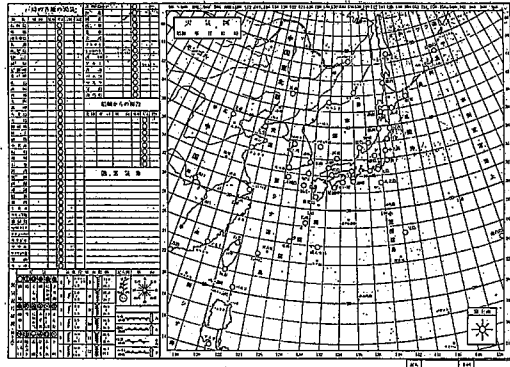
◎入選発表

昭和58年6月、入選者に直接通知するほか、新聞、NHKなどのテレビ、ラジオで発表します。

◎送り先

兵庫県貯蓄推進委員会 神戸市中央区京町81
日本銀行神戸支店内(〒650)

天気予報は八〇%あてになる



天気図記入用紙

「天気予報はあてにならない」とよくいいますが、天気予報ほどの程度であたるものだろうか。東京管区気象台では、天気予報を二、十八種類に分け、タテに予報、実際の天気をヨコと並べて、自己採点をしているが、それによると平均八十点だといふ。海に囲まれて、気圧が急に変わりやすい島国で、地形が複雑、地球上の位置も気象変化の激しい中緯度にある日本は、天気予報をする上できわめて条件が悪い。平均八十点はかなり好成绩の部類だといふ。

一口に天気予報といっても種類はいくつある。明後日までの天気を予想するのが「天気予報」、六時、九時、十二時、十八時、二十一時の毎日五回発表される。毎週火曜と金曜に次の週の七日間の予報をするのは週間天気予報で、長期予報にはさらに四種類がある。向こう一カ月間の天候を二旬、中旬、下旬に分けて予報するのが一カ月予報で、毎月十日と末日に発表する。三カ月間の天候を月単位に分けて、毎月二十日に予報するのが三カ月予報だ。毎年三月十日に春から梅雨、夏、秋初にかけての天候特性を予報するのが渡り予報。同じく十月二十日に秋から冬、春先にかけての天候特性を予報して発表するのが寒候期予報だ。

気象による被害が予想される場合には注意報や警報が出る。強風、豪雨、大雪などの「注意報」の意味は、「いとも通つて、うっかりしては危険ですよ」ということ。大雨警報などの「警報」のは、「いよいよ危険が迫っている、大きな被害が出るかもしれない」という意味だ。

そのほか一般の人にはなじみが薄いかもしれないが、船舶向けの波風予報、海上予報、飛行機向けの航空気象予報、さらに鉄道気象通報、電力気象予報などがある。「天気予報はあてにならない」といふのは、たまたま予報が当たらないからであらう。

「天気予報はあてにならない」といふのは、たまたま予報が当たらないからであらう。予報の種類や意味を正しく知って、積極的に利用するのが身のためというものである。

漁協一代その十三 作花英治

専務への道の五月(前) 九月二十七日漁業組合 総代会販売事務所二開会 二解決代行(一) 二気呵成二解決代行(二) 二総代会長代行(三) 二総代会長代行(四) 二総代会長代行(五) 二総代会長代行(六) 二総代会長代行(七) 二総代会長代行(八) 二総代会長代行(九) 二総代会長代行(十) 二総代会長代行(十一) 二総代会長代行(十二) 二総代会長代行(十三) 二総代会長代行(十四) 二総代会長代行(十五) 二総代会長代行(十六) 二総代会長代行(十七) 二総代会長代行(十八) 二総代会長代行(十九) 二総代会長代行(二十) 二総代会長代行(二十一) 二総代会長代行(二十二) 二総代会長代行(二十三) 二総代会長代行(二十四) 二総代会長代行(二十五) 二総代会長代行(二十六) 二総代会長代行(二十七) 二総代会長代行(二十八) 二総代会長代行(二十九) 二総代会長代行(三十) 二総代会長代行(三十一) 二総代会長代行(三十二) 二総代会長代行(三十三) 二総代会長代行(三十四) 二総代会長代行(三十五) 二総代会長代行(三十六) 二総代会長代行(三十七) 二総代会長代行(三十八) 二総代会長代行(三十九) 二総代会長代行(四十) 二総代会長代行(四十一) 二総代会長代行(四十二) 二総代会長代行(四十三) 二総代会長代行(四十四) 二総代会長代行(四十五) 二総代会長代行(四十六) 二総代会長代行(四十七) 二総代会長代行(四十八) 二総代会長代行(四十九) 二総代会長代行(五十) 二総代会長代行(五十一) 二総代会長代行(五十二) 二総代会長代行(五十三) 二総代会長代行(五十四) 二総代会長代行(五十五) 二総代会長代行(五十六) 二総代会長代行(五十七) 二総代会長代行(五十八) 二総代会長代行(五十九) 二総代会長代行(六十) 二総代会長代行(六十一) 二総代会長代行(六十二) 二総代会長代行(六十三) 二総代会長代行(六十四) 二総代会長代行(六十五) 二総代会長代行(六十六) 二総代会長代行(六十七) 二総代会長代行(六十八) 二総代会長代行(六十九) 二総代会長代行(七十) 二総代会長代行(七十一) 二総代会長代行(七十二) 二総代会長代行(七十三) 二総代会長代行(七十四) 二総代会長代行(七十五) 二総代会長代行(七十六) 二総代会長代行(七十七) 二総代会長代行(七十八) 二総代会長代行(七十九) 二総代会長代行(八十) 二総代会長代行(八十一) 二総代会長代行(八十二) 二総代会長代行(八十三) 二総代会長代行(八十四) 二総代会長代行(八十五) 二総代会長代行(八十六) 二総代会長代行(八十七) 二総代会長代行(八十八) 二総代会長代行(八十九) 二総代会長代行(九十) 二総代会長代行(九十一) 二総代会長代行(九十二) 二総代会長代行(九十三) 二総代会長代行(九十四) 二総代会長代行(九十五) 二総代会長代行(九十六) 二総代会長代行(九十七) 二総代会長代行(九十八) 二総代会長代行(九十九) 二総代会長代行(百)